



全国がんばる林業高校生表彰

「全国がんばる林業高校生表彰」は、将来の森林・林業を担う人材として、日々森林・林業に関する社会活動や研究などに取り組んでいる高校生の取組を応援するため、全国林業研究グループ連絡協議会が林野庁補助事業を活用し、令和2年度から開催しています。

本表彰には、高校生個人の資格取得や社会活動への参画状況を評価する「学校推薦部門」と、グループ等で地域の森林・林業の振興や課題解決を目指し取り組んでいる意欲的な活動や研究を評価する「地域活動・研究部門」の2部門があります。

「令和7年度全国がんばる林業高校生表彰」において、「学校推薦部門」では愛媛県立上浮穴高等学校の福田晴真さんが、「地域活動・研究部門」では熊本県立矢部高等学校の森林保全班（代表：鳥井太賀さん、村上優太さん、山崎颯太さん、橋本幸宝さん、上村心暖さん、小柴馨さん）が、それぞれ最優秀賞である林野庁長官賞を受賞しました。

福田さんは、将来、森をもっと多くの人が集まる場所にしたいという想いから林業に携わる公務員として働くことを目標に定め、学校では林業の専門知識や技術を学び、学校外では職場体験や「聞き書き甲子園」への参加、地域の森づくりボランティア活動などを通して社会とのつながりを築いてきました。これらのさまざまな取組が高く評価されました。

熊本県立矢部高等学校の森林保全班は、授業で広葉樹林の役割について学んだことを活かして、未整備の森林や耕作放棄地の増加に伴う水源かん養機能の低下といった地域が抱える課題に取り組み、クヌギを対象とした発芽試験の実施や耕作放棄地の苗畑としての活用、保育園等での植え付け教室の開催などの、地域における持続可能な森づくりの活動が高く評価されました。

各受賞者について



学校推薦部門

愛媛県立上浮穴高等学校 福田晴真さん（3年生）

活動内容：海外研修でドイツの林業学習、第23回聞き書き甲子園参加、地域の有志による森づくりに定期的に参加等

取得資格：伐木等の業務に係る特別教育等

受賞歴：第76回日本学校農業クラブ全国大会意見発表分野Ⅱ類優秀賞受賞等



（福田さん、小坂林野庁長官）



地域活動・研究部門

熊本県立矢部高等学校 森林保全班
鳥井太賀さん、村上優太さん、山崎颯太さん、
橋本幸宝さん（3年生）
上村心暖さん、小柴馨さん（2年生）

テーマ：持続可能な森林づくり

～どんでんぐりで広げる水源林保全と国土保全の輪～

活動内容：クヌギの発芽実験、耕作放棄地の整備・苗畑活用、保育園や商業施設で「どんでんぐり植え付け教室」の開催、企業やNPO等と連携した取組等



森林保全班の皆さん
（前列左から山崎さん、橋本さん、村上さん、鳥井さん、小柴さん、上村さん）